

暗唱部門 総評

50名全ての発表が自信に満ちあふれ、生き生きとしていました。コロナ渦で制約の多い中、先生や仲間と工夫をしながら多くの練習を積んできたことと思います。

さて、今年度の特徴としては全体的にどの生徒も1語1語の発音に気を付けながら、丁寧に発表している印象があります。日々の授業を中心に学習していることを生かそうとしているのが伝わりました。

今回入賞した6名に共通していたのは、「深い題材理解」です。題材にある背景や主人公の心情、語に込められた思いを、時間をかけて理解しているからこそ言葉の強さがありました。言葉の強さがやがてイントネーションとなり、心地よいリズムが生まれます。英語は言葉です。誰かに何かを伝える大切な手段として、これからも日々の学習を楽しく、前向きに取り組んでいきましょう。

(岩手県教育委員会事務局 学校教育室 指導主事 伊藤茂樹 様)